

ジャパトラマンのほやき

～ ブラジルの輸出について ～



情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版



多くのお客様にとってブラジルへの輸出は、「時差」、「ペナルティが高価」、「ルールが厳しい上、よく改正がある」、「B/Lへの記載事項にうるさい」、「トラブルが起きた時に言葉が通じない」など、悩みやリスクが付き纏います。弊社はブラジル側に事前チェックを行っておりますが、それでもトラブルが発生することがございます。その一例を紹介します。

それはブラジルの代理店にMB/LとHB/Lが届いたときに問題は発覚しました。

両方のB/Lの出港日印にずれがあり、書類を受け付けられないという連絡が入りました。

MB/Lを発行した船社に確認をしたところ、出港日当日に遅れが生じ、日付が予定と変わってしまっていたようです。これを受けて日本での状況を迅速に把握し、すぐに現地へ電話をし、確実にスピーディーな解決方法を話し合いました。その結果、弊社よりHB/Lを再発行し、ダイレクトでブラジル代理店へ送付、代理店にコンサイニーとのやりとりも行って頂きました。このような努力が実を結び、貨物は問題なく、遅延もなくリリースをされ事なきを得ました。再度このような事態が起きないように、弊社では下記流れでブラジル向けB/Lの作成・発行を行っております。

1. MB/L、HB/Lのドラフトを現地代理店に通関等で事前確認
2. OKが出たらHB/Lオリジナルを作成
3. OKが出たらMB/Lを船社にPICK UP
4. MB/L、HB/Lのオリジナルを再度現地代理店に確認をしてもらう
5. MB/L、HB/Lの内容に問題がなければ郵送

1)～5)のように徹底したチェック体制でBLの作成・発行を行っておりますが、地球の反対側の国ですので想定外の事態に見舞われることがございます。トラブル発生の際はこのような、密に現地とコンタクトを取りながら、確実かつスピーディーな対応を行っていきます。ブラジル向けについてお悩みがございましたら、私(大和ダニロ)が母国語を活かして解決します。何でもご相談ください。



Employee's Profile

初めまして、今年の3月からジャパントラストに入社しました本間 啓と申します。35歳での転職組となります。

前職ではオフィスのデザイン設計、施工、什器販売等を行う会社で、約12年間営業に携わってまいりました。まったくの異業種からの転職となり、周りからは「思い切ったな」と驚かれましたし、自分自身でも思い切った決断だったと思います。

入社して5ヶ月が経とうとしておりますが、ジャパントラストはメンバーの仲が良く、お互いに切磋琢磨して成長していこうという意志のある、若く活気のある会社です。そして何より素晴らしいお客様に恵まれていると、日々感じております。これから新しい知識をどんどん吸収し、今まで培ったものをさらに進化させて、多くのお客様に貢献できるよう頑張ります。たくさんの方々とお会いできるのを楽しみにしております。

東京支店 本間



ホームページ

リニューアルしました！

是非、弊社ホームページからのぞいて見て下さい。

<http://jpntrust.co.jp/>

貿易用語



SCAC : Standard Carrier Alpha Code. スキャックコード。米国における運送会社識別コード。
ジャパントラストは、JAPT。